



たまらぼ

チェンジメーカーズラボIN多摩

-社会を変えるチカラをつける100日間-

法政大学 ソーシャル・イノベーションセンター

地域や社会の課題が複雑化・多様化していく中、創造的なアイデアや行動で、現状を変えていく「Change maker (チェンジメーカー)」が、今まさに求められています。ソーシャル・イノベーションセンター (SIC) 発の100日間のプログラムに挑戦し、社会や地域をかえていくチェンジメーカーの仲間になりませんか。



◆ 3つの特徴

① 同世代コミュニティと専門家にバックアップ

起業やチェンジメーカーになることを目指す法政大学を中心とした同世代の仲間が集い、相互に刺激を与え合いながら、課題解決への道筋を探ります。また、大学や、社会起業家を目指す若者支援に取り組んできたNPO法人ETICのコーディネーターをはじめ地域の中間支援コーディネーターも加わり、皆さんのプロジェクトの加速を全面バックアップします。

② 講座やフィールドワーク、メンタリングなどからなるプログラム

プログラム参加を通じて、皆さんのプロジェクトが磨かれていきます。学んだ知識をもとに、プロジェクトを持続可能にしていくためのビジネスモデル構築や、リソース調達について学ぶチャンスです。

③ 優秀な活動に対しては大学からの支援金も！ (最大30万円)

優秀なプレゼンには、大学から支援金 (最大30万円) が贈られます。プログラム参加を機に、今後の活動へとつなげていきましょう。

◆ エントリー説明会

たまらぼの説明会を行います (途中退出可能) こんな方は是非、ご参加ください！

- 「たまらぼ」に興味がある方
- 社会的起業や社会課題解決という言葉にピンとくる方
- 大学生の間に何かチャレンジしてみたいと思っている方

【日程】

- ① 5月20日 (水) 13:00~13:30 社会学部食堂棟・Patio
- ② 5月21日 (木) 13:00~13:30 経済学部棟・Mogoo

◆ 2026年度 募集要項

募集件数：6件程度 (個人でもチームでも応募可)

応募資格：● 法政大学/大学院にチームの主要メンバーが所属していること

● プログラムの日程に原則全回参加できること

● プログラムを最大限活用する意思があり、期間中十分にアクションを実施できること

※ 応募にあたっては、エントリー説明会への参加必須です。

参加できない場合は、個別面談を別途実施します。

選考：エントリーフォーム書類による選考と面談を予定しています。

エントリーフォーム受付期間：2026年5月25日 (月) ~6月12日 (金) 23:59

問い合わせ先：t-soil@ml.hosei.ac.jp (ソーシャル・イノベーションセンター事務局)

◆ スケジュール (予定)

- 第1回 (7月実施予定)：キックオフ
社会や地域に変化をもたらすプロジェクトの立ち上げ方
- 第2回 (8月実施予定)：ミートアップ①
ターゲットの深堀、ペルソナ策定
- 第3回 (9月実施予定)：ミートアップ②
課題解決のシナリオ作り
- 第4回 (10月実施予定)：ミートアップ③
リソース調達法の方法、プレゼン練習
- 第5回 (11月実施予定)：最終報告会「DEMODAY」

2026 たまらぼ
エントリーフォーム



※ 5/25以降、入力可能です

たまらぼ 歴代受賞者紹介



2023年度 受賞チーム

最優秀賞：法政大学多摩キャンパスと駅間における移動の利便性向上



多摩キャンパスの長年の課題とされる「交通アクセス」。路線バスの通学以外の手段として、電動モビリティの導入プランを提案。バス移動の代替手段として提案する電動トゥクトゥクは、学生の移動手段以外に周辺地域への観光・産業にも生かす新たなビジネスモデルとして、審査員からの高い評価を受けました。



優秀賞：Fun Quest 「孤育てからの解放」×すべての子供への多様な学びと経験の機会創出



共働き世帯が直面する課題を前に離職を選択する女性が多い現実に対し、学生の力で共働き世帯の抱える問題を解決する「FunQuest」を提案。学生が学んだことを生かす実践の場と共に、子ども見守りサポートのサービスを通じて、「孤育てからの解放」と「全ての子どもへの多様な学びと経験の機会創出」を目指しました。

優秀賞：食と音楽の掛け算で新たな繋がりデザインするプロダクト『Moodish』



チームのビジョンは「好きなことに注力する人を増やしたい」。一般大学生よりも音大生の就職率が低いことに着目し、音大生たちへのヒアリングで音楽以外の選択肢を知る環境に無いことを発見。その打開策として、音楽特化のピンポイントアルバイトのプロダクト「Moodish」を提案しました。

2024年度 受賞チーム

最優秀賞：バス通学を便利に、学生×飲食店をつなぐアプリ開発



多摩キャンパスでは、多くの学生が路線バスを利用して通学しています。そこで、バス乗車の待ち時間を減らすため、大学から最寄り駅までのバスの時刻表を簡単に調べることができるアプリ「たまっぷ」を開発しました。さらに駅周辺の飲食店と提携しアプリ利用者向けの割引サービスを付加し、学生の利用を促し、キャンパス周辺の地域活性化にも寄与することを目指しています。



優秀賞：カフェで紡がれる、若者のための居場所プロジェクト



中高生の居場所に対する支援の不足と、若者の孤独感・自己肯定感の低さを解決するために、中高生の居場所支援を大学生のボランティアで行うプロジェクトを提案。中高生が気軽に立ち寄ることのできるカフェを大学生が運営することで、全ての若者に「安心感」と「選択肢」がある未来を目指していきます。

優秀賞：学んだ後はソクメシ！昼食を受け取るデリバリーサービス



近隣に飲食店が少ない多摩キャンパスの昼食問題の改善のため、事前に注文を受け、指定場所ですぐにお弁当を受け取れる仕組みを考えました。プログラム中には近隣の飲食店の協力を得て実証実験も行い、学生からも好評でした。

2025年度 受賞チーム

最優秀賞：“方舟の旅”プロジェクト



2024年に起きた能登半島地震の復興ボランティアに通う学生有志チーム。全国各地で災害が多様化・激甚化し、災害からの復興が地域課題となる中、実際に何度も能登へ足を運び、復興活動と旅行を組み合わせたツアーの企画・仲介を行うサービスを提案しました。今後は、実際に学生に本サービスを利用してもらい検証を進めていく予定としています。



優秀賞：フリースクール先での不登校生向け職業学習支援



自身の原体験をもとに、不登校の子どもたちに向けた職業講演イベントを企画・実施。不登校の子どもたちにとって、学校を卒業した後の進路を考えるためのサポートが不十分であることを課題と考え、地域で働く方々を講師にした講演会を実施しました。

優秀賞：地域を盛り上げるスキマ広告一町の余白をデザインするお店を地域一丸で支えていく新しい広告サービス



窓や扉などの空きスペースを活用してお店の広告を掲出する個人商店向けの広告サービスを提案。地域の思い出のお店を残したいという思いから生まれたアイデアです。近隣地域の商店街を対象として、サービスの営業から広告の制作・掲示をするという実証実験を行いました。